

報 告

第 39 回国際福祉機器展 H. C. R. 2012

愛媛頸髄損傷者連絡会 鈴木 太

1. はじめに

9月26日(水)～28日(金)にかけて東京ビックサイトで第39回国際福祉機器展 H.C.R. 2012 が開催されました。アジア最大規模の福祉機器の専門展示会であり、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した世界の福祉機器が一堂に集まる国際展示会です。

今まで同じ頸髄損傷の方や担当の理学療法士から誘いや情報はいただいていたのですが、今回初めて H.C.R. に参加してきました。

2. 東京ビックサイトまでのアクセス

東京ビックサイトまでのアクセスと言いましても、四国の電動車いすユーザーが東京までとなると列車か飛行機かという選択になります。私の場合、一番近い空港まで車で一時間半、乗り移りや車いす積み込みの手配を考えると、岡山まで在来線特急、その後乗り換えて新幹線という方法になります。片道5時間以上の長時間になりますが、関東へのアクセスはいつもこの方法を使っています。

四国の在来線は駅がバリアフリーでない場合がありますが、有人駅は乗り込みのためのスロープ完備、無人駅については最寄りの有人駅が対応し列車に乗り出ます。

新幹線品川駅から山手線、大崎駅乗換でりんかい線にて国際展示場前で下車しました。

ここから会場までは無料のシャトルバスが運行されていました。

3. はじめての国際福祉機器展

シャトルバスを降りて、まず規模の大きさに唖然。大阪のバリアフリーにも何度か参加をしたことがありますが、まずどこまでが会場かが分からない。受付で、会場案内図やスタッフの説明を聞いてからの出発になりました。

まず向かったのが福祉車両の展示ブース、様々な種類の車両がメーカーに分かれ展示されていました。数種類の介助用スロープ型車両を試し、オプションの相談、価格の見積もり、担当者からの助言などその場でカタログにはない情報を得ることが出来ました。自乗用の車両には多くの車いすユーザーが試乗待ちしていました。

次に向かったのは、散々苦勞して2012年2月に給付にこぎ着けた電動車いすのブース。多くの機種に試乗した経験はあったのですが、この H.C.R. 初登場の機種は外すことは出来ません。その場で気になっていた高さや長さを計り、担当者から重量や耐荷重などお聞きしました。様々なメーカーをまわり、自分の考えるクッションとの相性、住環境から担当者の回答をもらうことが出来ました。

次に探したのが今自宅に取り付けを考えている、風呂場用リフト。思った以上に多くのメーカーから発売されていました。一つ一つ回りつつ、あっちで見つかった問題をこっちで聞き、こっちで見つかった問題をあっちで聞くと、同じメーカーを何度か周り自分の家にあったものを何個か見つけました。

はじめての機器の購入を考える場合、四国でよく問題になるのが販売とメンテナンスの問題。取り付けやメンテナンス依頼にかかる費用などもお聞きしました。緊急のトラブルや何年後かのメンテナンスの状況もあわせて。私が頸髄損傷受傷した時より四国への対応が多いのは驚きでした。

この後はとにかく見て歩きました。高齢介護関係

 全国頸髄損傷者連絡会

愛媛頸髄損傷者連絡会

〒799-0433

愛媛県四国中央市豊岡町豊田 336-2

のものから、住環境、施設設備の関係まで、とにかく一通り全てまわり、気になった小さなブースは二日目にと考え会場を後にしました。

二日目、気になった団体や協会の小さなブースを担当者の説明を聞きつつまわりました。

出展者プレゼンテーションにも参加しました。小さな会場で、開発の経緯やどのような場面で活用されているのかなどを聞くことが出来ました。開発者が考える方向性を直に聞くことの出来る貴重な時間でした。日本で未発表のものも紹介され、電動車いすとパソコンやタブレット端末、家庭の電化製品との融合を感じました。

4. もう一つの国際福祉機器展

私が二日間会場をまわる中で思ったのが、メーカーや企業の展示も面白いが、会場に集まる車いすユーザーを見ているのが楽しいことです。会場で展示してあるような機器を活用し、車いすや電動車いすユーザーが生活で使用している状況。私には非常に新鮮な光景でした。機器というものが生活や動作の中にあり、それが自然に当たり前のように繰り返されている。そう思い出すと、ロビーやエントランスで休む車いすユーザーを必死に追いかけていました。



写真1 ロビーもまるで福祉機器展

5. まとめ

H.C.R. には展示会という枠組みでは捉えきれない様々な側面があると感じました。

友人や知り合いと H.C.R. を訪れた方はエントランスで様々な話をし、年に一度の同窓会のような雰囲気でした。実際私も今までは年一度の全国頸髄損傷者連絡会全国総会でお会いしていた方と再会し、近況報告に機器の話をして新しい車椅子の構想などを話しました。

愛媛でこの二日間の経験はまず出来ないでしょう。電動車いす一つにとってもメーカーに業者に連絡をとり、近くの業者を探し、愛媛に来てもらえるかからはじまります。そして、限られた中での試乗やセッティングしか出来ません。この二日間で何年分の体験をしたのだろうかと考えてしまいます。

今回が初めての H.C.R. ということで、とにかく規模の大きさには驚かされました。そして今まで知らなかった幅広い分野の団体展示にも驚かされました。ここで知ることの出来た企業や学校、協会、法人などこれから愛媛で生活する中でうまく情報を手に入れ取り入れていきたいと思います。



写真2 会場内は撮影禁止ですがっかり